



おきなわ 私保連だより

No.

138

2019年(令和元年)

7月26日



沖私保連HP

発行所

一般社団法人

沖縄県私立保育園連盟

〒903-0804

那覇市首里石嶺町4-373-1

TEL.098(887)1270

発行人：仲地 賢

編集：広報部



シャボン玉とんでいけ～(たんぽぽ保育園)

もくじ

第64回定期総会・研修	2P	保育士の声	6~8P
新規加入園紹介	3P	子どものつぶやき 沖私保連の動き	9P
園長交代紹介 沖女短との意見交換	4P	夏の風景 編集後記	10P
各部長挨拶	5P	広告	10~12P

第64回定期総会・研修会



仲地 賢 沖私保連会長

2019年5月21、22日にリザンシーパーク谷茶ベイにて第64回一般社団法人沖縄県私立保育園連盟定期総会・研修会が行われました。加盟園234園（5／22現在）中、123園が参加し、64カ園の委任状の提出がありました。

仲地会長の挨拶の後、補正予算や事業報告、決算報告などがなされ、賛成多数の拍手を持って承認されました。また、新規加入園の園長、新任園長（園長交代）の自己紹介があり、新しい会員の加入、交代に大きな拍手が送られ、2019年度の事業がスタートしました。

研修1 『行政説明』 沖縄県福祉保健部 子育て支援課

総会の前に行われた研修1では、沖縄県福祉保健部の子育て支援課から羽地さん、渡名喜さんにによる行政説明が行われました。説明の中で10月からスタートする保育無償化について触れ、問題になっている給食費徴収について保護者と園との関係を園まかせにするのではなく、保護者向けのリーフレットを作成し周知を図るなど支援を行っていきたいとのお話をありました。会場からは多くの質疑が出され、一部質問に対しては、持ち帰って検討するとのお話がありました。



研修2 『日本の保育制度の動向～幼児教育・保育の無償化を中心に～』

逆井 直紀氏(保育研究所 常務理事)

冒頭、逆井氏より「保育制度は子どものためであるべき、現場の声をもっと発信していかなければならない。」と私たちが進むべき方向性を示して下さいました。さらに、国に付度する必要はない。親や保育所の責任が多く求められてきているが、それで本当に子どもを守れるのか、もっと社会、行政、国がその責任を担うべきであると述べられた。また、保育は返品のきかない商品であるとえ、基準を守り向上させることが重要であり、そのため公的責任が大切である。市場化というのは“どうやれば保育がよくなるのか”という発想ではなく“保育を知らない業種”が保育に参入し、お金をかけない（水分も取らない、オムツを替えない）保育をし、劣悪な保育を提供することになる。それを受けた子ども達の時間を戻すことはできない、子どもは平等であるべきで子どもの権利を最優先にすることが大切だ。良い点とすれば、保育問題に各マスコミが目を向け、注目されている。だからこそ、今もっと発信すべきだと述べた。さらに無償化については、基準を満たしていない認可外保育園でも“無償化の対象施設です”と大きく宣伝してくるだろう。また、保育時間に関しては無償化になると短時間ではなく標準時間にしようという保護者が増え、保育時間が延び、保育園に入れようと待機児童がさらに増える可能性がある。

給食費の実費徴収については、各園に問題（休んだら給食費は返金？逆にお金を払ったからちゃんと食べさせて下さいなどのクレーム）が生じ、加えて食材費の滞納も予想される。さらに現場での徴収は事務負担が増える。

全国的に見て見ると、副食費の補助をする市町村も出てきた。その実態を行政に声をあげていく必要がある。給食費未納だからと給食を与えないことはできない。保育は市から委託を受けているのだから、食材費の徴収は行政の仕事ではないのか。条例を定めれば市町村が利用者から実費徴収は可能である。「無償化」の嵐に翻弄されることなく、制度の充実のために行動を起こさなければならない。と無償化における問題点を的確に示してくださいました。

研修の最後に「へいわってどんなこと？」（浜田桂子著）の絵本を紹介。

『～嫌なことは一人でも嫌だと言える…それが平和ってことなんじゃないの？～付度、自肃などせずに 子どもたちのために きちんと声をあげよう 仲間とともに 父母とともに』の言葉がとても印象に残った。

たくさんの学びを武器に互いに手を取り子どもたちのために奮闘ていきましょう。との励ましの言葉もあり、勇気の沸く研修となつた。

仲地会長より
かりゆしウエアの贈呈

新規加入園紹介



社会福祉法人 ふくよか福祉会
ふくよか第2保育園（うるま市）
園長 菅村 美智子

ふくよか第2保育園はうるま市与那城屋慶名に平成31年2月に開園しました。

うるま市与那城地区は公立保育所とふくよか保育園がありました。第2園開園により待機児童解消でき、地域の子育ての支援につながればと考えております。

ふくよか福祉会は創立35周年を迎えた、ふくよか保育園で、これまで子どもの健康と安全を基本に保護者の協力のもと、「素直で思いやりのある子」「挨拶ができる子」「明るく健康な子」を保育目標に園生活の中で子どもたちが自分のやりたいことに向かって心と体を充実させ、のびのび育ててきました。



社会福祉法人 咲心ラボール福祉会
咲心ラボール保育園（中城村）
園長 伊佐 京子

子どもたちの未来】を目指しスタッフ一同邁進して参ります。加盟園の皆様何卒宜しくお願い申し上げます。



本園は中城村安里で34年間、保護者や地域の方々に支えられて、認可外保育園を運営していましたが、待機児童が多い地区ということで、北上原の方に場所を移し、2018年11月1日（福）咲心ラボール保育園として開園に至りました。

傾斜地を有効活用し恵まれた環境で子どもの健康と創造性を育み伸び伸びと過ごしています。地域では牛舎があり闘牛が散歩したり、おじいちゃん、おばあちゃんの野菜畠で、触れ合ったりと心和むひと時もあります。当園の理念もあります[あなたの喜びは私の喜び、共に信頼し子どもたちの心身を支え、大きく咲かそう



園長交代 退任の園長先生ご苦労様でした。

園名	新園長	前園長	ブロック
太陽の子	嘉手納 美枝	嘉手納 節子	北部
夢の子	豊里 千恵子	兼城 千枝子	中部北
ふくよか	大庭 洋子	菅村 美智子	中部北
諸聖徒	金 汀珠	前濱 玲子	中部北
でいご	宮平 寿子	玉城 ヨシ子	中部北
若松	赤嶺 卓枝	喜納 守	中部北
愛の星	眞玉橋 いずみ	眞玉橋 史卓	中部北
かまらきらきら	比嘉 悅子	眞玉橋 いずみ	中部北
みはら	諸見里 ルリ子	諸見里 安智	中部北
柿の実	石川 慧	石川 君子	中部南
ガジマル	三木 優子	糸数 由美子	那覇
第二エミール	諸見里 律子	金城 順一	那覇
玉の子夜間	池宮 喜秀	高良 桂子	那覇
オレンジ	池間 鎮	宮里 美代子	那覇
長田	盛元 依子	大城 律子	那覇
さんご	石川 元則	金城 美江子	南部
つぼみ	赤嶺 恵子	赤嶺 琢哉	南部
豊崎	名嘉元 寿美代	名嘉元 美佐子	南部

平成30年度 沖縄女子短期大学との意見交換会

日時：平成31年2月25日（月）午後2時～ 場所：沖縄女子短期大学 会議室

沖私保連理事11名と沖縄女子短期大学の先生方11名の参加のもと意見交換会が行われた。

平成2年から始まり28回を重ねたこの会においての意見を保育士養成と実習生の指導に生かしてきた。保育士不足の現状からも質にこだわって育成したい。との鎌田学長からの挨拶があり、学長職を平田美紀先生にバトンタッチされることを報告された。

仲地会長から、各種イベントや講師派遣等にご尽力いただいたことに感謝し、この20年で保育所運営費が給付費に変わるものなど保育の動向は激変していることを挨拶された。

学生の県内保育園への就職状況や、保育士養成校の取り組み紹介の後、就職後の保育園における職員育成や離職防止の取り組みについて意見交換があった。

また、学校側からは、実習生の声から保育園像や保育者像が、各園の対応によって受取り方が違うこと。

逆に就活の段階では幼稚園を希望していた学生が保育園見学で、職場環境の良さに触れ保育園に就職を決めた学生がいることを報告いただいた。

理事からは、保育の質を左右するのは園長であることから、実習生の声を生かして、養成校連携の中で園長研修を行いたいとの提案があがった。

学校側から、インターンシップの現状について、これまでボランティアだったものを夏休みに最低25時間の課題を与えて単位としている。学生は、もっと子どもと関わる、保育園をもっと見たいといった声があがっているとの意見に対して、私保連青年会議は、今後フィールドワーク型、体験型の研修に学生も呼び込み、現場の楽しさ、保育の楽しさを共有しながら保育士育成にもつなげたいと報告した。



各部長挨拶

総務部

平成から令和へ時代の移り変わりとともに、保育にもまた、新たな風が吹いてきました。

私は、施設長として15年目を迎え、これまで沖私保連の諸先輩方から、児童福祉の事を学ばせていただきながら、それ以上に子どもたちの未来に対する熱い想いをお聞きすることができました。まだまだ未熟で、至らない面もありますが、それは、これから自分自身の伸びしろを感じる瞬間でもあります。これまで沖私保連の歴史を築いてきた、諸先輩方の想いを胸に、子どもの最善の利益・幸せを守るためにより一層、精進してまいりたいと思いますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

予算対策部

予算対策部長 田仲 雄二 西原保育園

新制度がスタートし、5年毎の見直しの年を迎えてます。国の子ども子育て会議では様々な議論が浮上し、最も注視しなければいけない公定価格の“積み上げ方式”から、“包括方式”への転換の議論が活発化しています。現行の公定価格は、職員配置基準や設備環境等を基に、人件費、事業費、管理費など保育に必要な費用を積み上げ算定されています。そのことにより、保育を行う上で不足しているところは充実させてほしいと、国へ予算や制度を改善するよう要望する根拠となっています。一方、包括方式は、保育に要する平均的な費用を実態調査により、把握し人件費、事業費、管理費等を包括的に評価し算定されるため、含まれている費用項目が明確ではなく、予対運動等の根拠が見えにくくなり、より良い制度構築を求められません。新制度施行される直前も同様の議論がありましたが、前述の趣旨から“積み上げ方式”的堅持を強く訴え実現に至った経緯があります。制度見直しの年。保育をしっかりと国の制度で保障させていくよう、より一層会員の皆様のご理解・ご協力の程宜しくお願いいたします。

事業部

事業部長 岸本 恵美子 聖ルカ保育園

私保連加盟園の皆様には平素から事業部活動をご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。活動の中には保育資材の紹介、斡旋等があり保育事業に適した商品を安価でお役に立てるよう取り揃えていますのでお勧めします。また、今年は昨今の保育中における事故が増加傾向にある中でリスクマネジメント、補償問題、AEDの重要性等を含めた研修会を予定しています。是非、自園を守る為にも多くの皆様の参加をお待ちします。（詳細は後日）今後共、事業部の活動に関心を持ち、意見や要望等ありましたらお聞かせ下さい。

研修部「保育を語り合う」

研修部長 安河山 チエミ たいよう保育園

子どものこと、保育のことを熱く語る部員の姿をみていると元気と勇気が湧いてきます

今年の5月「学会に参加してみたい」という部員の声で、部内研修として、第72回日本保育学会に参加してまいりました。7月にはその報告会も予定しており、一人一人の学びを皆で共有したいと思っています。

キャリアアップ研修、保育研究大会等の研修企画運営にあたり、「とことん保育の質にこだわる」ことを貫き、それが保育の質の向上、子どもの豊かな育ちへと繋がることを願い、仲間と共に学ぶことを楽しみたいと思っています。

広報部

広報部長 嘉陽 理子 たんぽぽ保育園

「広報部長頑張ってください。」と当時の会長、當間左知子先生より委嘱状を受け取ったのが平成28年5月。昨年5月に仲地賢会長からも温かい励ましのお言葉と二期目の委嘱状を受け取った。右も左もわからず白紙の状態でスタートしたあの日から4年。時代も令和と移り変わったが保育を取り巻く問題はさらに複雑化しているように感じる。今年度は無償化による給食費徴収に関する問題などもあり、ますます組織としての活動が重要となる年だ。

広報誌（私保連だより）は、会員相互の共通理解を深める大切な媒体。その時の情勢を的確に捉え、私保連としての思いを発信し、さらに子ども達への深い愛情や保育に対する情熱を発信していきたい。

今年度も広報部員力を合わせて頑張ります！ よろしくお願ひいたします。

2019年連載企画 保育士の声

随時原稿募集中



◆私が保育士になって思うこと、感じたこと カルバーソン 千賀子 豊崎保育園

保育士は、子どもの命を預かる責任ある仕事ですが、子どもの成長を手助けし、昨日はできなかつたことが今日できるようになつた、そんな日々の成長を見るたびに保育士の楽しさを実感することができます。子どもの成長を保護者と一緒にになって喜び感謝の言葉をもらえると保育士をやつていて良かったと思える瞬間でもあり、明日からも頑張ろうという気持ちになります。日々子どもと向き合いながら一番嬉しいことはやはり子どもの笑顔です。保育に正解はありません。「子どもの対応は適切だったのだろうか?」「もっと良いアドバイスが保護者にできたのでは・・・」と何年保育士をしても考えさせられます。だからこそ常に成長できると思います。子どもの笑顔を守るため、保護者が安心して子どもを預けられるためにも、保育士として子ども達やその保護者をいたわり思いやる優しい心を持つことを忘れずに、心強い存在にならなければやりがいがある仕事だと思います。

◆私の嬉しい時間

盛田 日奈子 港川保育園

保育士になって初めての年、私は1歳児を担当した。今年は4年目になり0歳児を担当している。初めて担任したAちゃんと、Bちゃんは、もうりつぱな4歳児になっている。

私が出勤してくると同時に、Aちゃんも、Bちゃんもやってきて0歳児のお世話をしてくれる。泣いている子をあやしたり、一緒に遊んであげたりと手伝いをしてくれる。二人とも入園したての頃は、母親から離れずによく泣いていた。それが今では、同じように母親から離れず泣いている0歳児の子どもたちに、おもちゃを渡したり、「だっこしようか?」と声をかけてみたりと優しく気遣って関わっている。

毎朝の風景。そんなひとコマに保育士の仕事が楽しいと思える瞬間がある。

◆保育士になり感謝していること

松堂 武 ぶどうの木保育園

私は保育士になって8年目で、現在2歳児の担当をしています。保育士になって最初の2、3年は、上手くいかないことが多いとばかりで「なんで保育士になったんだろう、辞めようかな・・・」と思うことが多々ありました。毎日子ども達と向き合っていると子どもたちの笑顔や何気ない一言で元気をもらい「また明日もがんばってみよう!」という気持ちになれます。子ども達からもらったパワーが今、保育士を頑張っていられる源だと思います。また、たくさんの先生方と保育をする中で、アドバイスをいただき、保育の振り返りをしながら、研修への参加を通して日々の保育を楽しむことができています。この場を借りて今まで私と関わってきた子ども達、保護者の皆さん、職場の先生たちに感謝を伝えることが出来たらと思います。まだまだ未熟な私ですが、これからも子ども達のために出来ることを一つずつ、頑張っていきたいと思います。そして感謝の気持ちを忘れず、ありがとうと伝えられる保育をしていきたいと思います。

◆夢叶えて

金城 久美子 杉の子保育園

保育士になるのは小学生の頃からの夢でした。保育士になるための実習を今の職場でさせて頂き、絶対にこの保育園で働きたい。でも今の自分では力不足と思い、卒業後いろいろな園で経験し、30歳を目の前にして、やっと働くことができました。子どもたちも、先生方も変わらず明るく、楽しく勤めることができます。

保育士になって日々成長していく子ども達の姿を見ることがとても楽しく、毎日今日は何をして遊ぼうか、この遊びを取り入れたら子ども達はどんな反応をするのか?子どもたちと相談したり、意見を聞いたりといろんな遊びを通してのやり取りが私は楽しくやりがいを感じています。意図的に取り入れた遊びが発展してお遊戯会などに意欲を持ってできた事には私も嬉しかったです。

子どもたちの頑張る姿を保護者に伝えていく中で、上手く伝えられなかったりしたことがあります。悩んだ事もあります。今後の私の課題としては、保護者との関わり方を学んでいきたいと思っています。

2019年連載企画 保育士の声

随時原稿募集中



◆私が保育士になって思うこと 當山 まき 杉の子保育園

早いもので保育園に勤めて20年が経ちました。子どもたちの可愛い笑顔に癒され、成長の喜びを感じ、子どもたちから得た発見、学びを通して自分の保育を反省したり、先輩方や仲間からアドバイスを頂いたりする中で、子どもたちからの反応に保育士の楽しさ・やりがいを日々感じながら仕事をさせてもらっています。

卒園児が今度は、親となって再び当園に子どもを預け2世代3世代と繋がりがもてる姿を見て微笑ましく、杉の子保育園で仕事が出来る事を嬉しく思います。

保育園の理念にある「常に地域に必要とされ、地域に愛され、地域に信頼される保育園」を大切にし、行動力溢れる園長先生の下、素敵な仲間と共に園児が健康で楽しく、安心して過ごせる保育を目指して頑張っていきたいと思います。

◆保育士になって思うこと

上原 南帆 こくら保育園

保育士になり早1年が経ち、子どもの対応や保護者支援、子どもの命を預かる責任の重さなど私が想像していた以上に大変な仕事だと日々感じています。しかしその分、とてもやりがいがあります。朝、子どもが「先生おはよう」と笑顔で登園している姿を見たときや、「先生大好き」と言わされた時、保護者から「いつもありがとうございます」と感謝の言葉をもらった時は、保育士になって良かったと感じます。最近は、保育園での事件や事故が多く、私の周りでも実際「子どもを保育園に預けるのが怖い」と思っている友人もいます。子どもが安心して過ごしていけるような環境づくりも勿論ですが、保護者も安心して子どもを預けられる環境づくりを行っていきたいです。保育士は大変な仕事ですが、これからもっと成長していきたいです。

◆私が保育士になって思うこと。感じたこと 祖慶 明花 こくら保育園

「保育士」という職に就いて、15年目。その間に結婚、出産を経験し、現在子育てをしながら、保育士として働いています。保育士を続けてきて思うこと。それは、私にとっての「天職」だということです。目の前には無垢な笑顔で「せんせい!」と私を保育士として居させてくれる子ども達の存在があります。慌ただしい毎日ではありますが、子ども達のワクワクに共感したり、表情を汲み取り、小さな変化や思いに気づくことができるよう、子ども達と関わっていけるようにしています。

私自身の課題は多く、時には悩んだりすることもありますが、その課題をクリアすることで自分自身の質の向上に繋がると信じ、仲間の支えを糧に保育士を続けてきました。

年々、後輩の育成や園の課題に取り組むことも増えてきましたが、私が私らしく保育士を続けていけるよう、大切な「チームこくら」の仲間に感謝し、協力を得ながら保育士歴20年目を目指し、日々成長していきたいと思います。

◆なりたい仕事ナンバーワン

本部 順子 たんぽぽ保育園

いつの頃だったのか、なりたい職業と聞かれると母親と同じこの仕事を口にしていました。高校、短大と保育士になるべくそれに沿った学校へと進むも、自分の中では漠然としたままでした。ある日授業の一環として附属の幼稚園で実習を行いました。この時の体験を通して「保育士になりたい」という思いが次第に強くなっていました。普段から小さい子に接することは多くはなかったけれど年下の子の面倒を見たりする事は好きでした。実習でも緊張して手遊びや絵本を読みだすことを覚えていました。でもそれ以上に感激して嬉しかった思いが強かったです。それから学校を卒業して初めて職に就いて子どもたちに接し、楽しいことばかりでなく一人一人の育成に携わるこの仕事にやりがいと責任の重さを感じました。毎日の日々の中でも子どもたちに教えてもらうことが多く、新鮮で、成長を感じた時の喜びや何にもかえがたいものです。なりたてなったこの職業に誇りを持って日々楽しみたいです。

2019年連載企画 保育士の声

随時原稿募集中



◆保育士として今、思うこと

目取真 恵 たんぽぽ保育園

18年ぶりに保育の現場に戻ってきて、今、私が思うことは「やっぱり、保育の仕事が好き!」ということです。その理由の一つとして、日々の生活の中で、子どもたちと一緒に笑い合える事が多く、その素直な純粋な心にほっこり癒されています。それから、出来なかつたことが出来るようになったり、またはその出来ないことをがんばっている姿を見たり、子どもたちの成長を感じた時、何ともいえない喜びとやりがいを感じます。もちろん、うまくいかない事があったり、日々の業務に追われ、大変だと落ち込んだり、悩むことも多く、自身も成長させてもらっています。「保育は保育者の人間性が反映される」とある著書がありました。それを忘れることなく、「センセイ、ダイスキ」と言われるような保育士を目指していきたいと思います。

◆保育士になって思うこと

照屋 由紀乃 たんぽぽ保育園

私が保育士になろうと思ったきっかけは、私自身が保育園に通った事が無く、保育園ってどんな所だろう、行ってみたいという憧れから始まりました。集団活動を経験しないまま幼稚園に入園した私は、遊びも園生活もついて行けず、とても困った事を今でも鮮明に覚えています。だから今度は私が先生になって子ども達に様々な遊びを経験させたい、私のように幼稚園に入つて困ったりしないようにたくさんの事を学ばせていくことを保育士を目指しました。でも実際は子どもたちから私が学んでいる事が多く、こんな声かけをしたら気持ちを切り替える事が出来た、苦手な食材を食べられるようになった、等、発見する度に保育士としてやりがいを感じると同時に、今までの保育に対して反省する事もとても多いです。今の園に保育士として働いて4年目ですが、まだまだ勉強不足だと思うので、ベテランの先生方から学びながら 私自身も子ども達と共に成長していきたいと思っています。

◆子どもによって成長させられた私

知名 雪美 たんぽぽ保育園

私の小さい頃の夢は、看護師でした。それが私には無理だということに気づき、将来の夢もありませんでした。先輩に誘われて保育の学校に行きましたが、子どものかわいさを知らない私は違う職を転々としていました。そんな私にも子どもを授かり、愛おしいと初めて感じる幸せを教えてくれたのも、子ども達でした。そして私は、改めて保育士として再出発することを決めました。子どもたちのおかげで私自身が成長させられたという思いがあり、その経験を経て、私自身保育士として少しだけ自信がついてきました。今ではこの仕事をしていて良かったと思っています。私が保育士として心がけていること、それは一人一人ちがつてい、その子のいいところをたくさんみつけてあげること、そして笑顔をたくさん見たいと常に思っていることです。

◆今、私の思う事

大城 リサ たんぽぽ保育園

末の娘が小学生となり、子育てが一段落。そんな折、子育て支援センター担当保育士としての仕事を得る機会を得た。3人の子育て中、毎日のように通い、お世話になった元利用者である。子どもの変化や成長と共に喜び、育児の悩みや辛さを受け止めて下さる、温かな雰囲気がとても心地良く、そこに居場所があることがとても有難かった。

今度は支援する側として、利用者に向き合う日々。子どもたちとの触れ合いに心が和む。しかし利用者の求めている事、育児に対する考え方はそれぞれで、対応の難しさを感じる場面も。個々を理解するための関係づくりに努力している所だ。

担当者となり初めて、細やかな心配りで親子共に支えられていたことを実感している。私もして頂いたように、利用者の気持ちに寄り添いながら子育てを支えていける存在となりたい。

子どものつぶやき

・4歳女の子（お家の中で）

冷蔵庫に磁石式の温度計をつけていたのを見つけたNちゃんは大急ぎでママのところに走ってきた。「ママ、冷蔵庫が風邪ひいてお湯でいるよ!」「せきもしているよ」ママが「どうしてわかるの?」と聞いたら温度計を外してきて「だってお熱が上がっているんだもん」その温度計は赤い線が出るタイプでした。

・1歳児

最近、話すことが上手になり会話を楽しんでいる男児（2歳）とのやりとり 担任「おかわりする?」Tくん「ちょっとだけ」担任「ちょっと?」…「ちょっと」という言葉の表現にびっくり!まさかの返事に周りの場が笑いに包まれました。

・2歳児

Dくん「Yちゃん髪切った?」Y「切ったよ」D「かわいい~」Y「Dもかっこいいさー」 D「じゃあ、ふたりかわいいね~」お互いを意識し褒め合う姿が微笑ましかったです。

・3歳児クラス

大好きなおやつを前に目をキラキラさせているAさん。職員「おいしそうだね~」 A「でしょ?これさ、ちゅーぱーのせんせいがつくりよった」職員「ちゅーぱー?」強い人のこと? 正解は厨房の先生でした。当の本人に伝えると（県外出身者）「YouTuberのことですか?」だって（笑）

・2歳児

ある日のおやつに「蒸かし芋」が出たときのこと。担任「これはどうやって食べようかな?」と問い合わせると K「ブスッさしてたべる!（フォーク）」表現のチョイスが絶妙で思わず微笑んでしまいました。

・仲良しのRくんとKくんはブロックで剣を作り、エイ、ヤッと、戦いごっこをしています。

しばらくすると、K「いたっ」とおでこを押さえ、涙をぐっとこらえている。

R「あっ」と。（しまった、という表情）

R「えーん、えーん」Kくんは泣かないけど、間違ってやってしまったRくんが大泣き。

先生が、Rくんは、ただ滑っただけ、だいじょうぶね、Kくん。

K「だいじょうぶ、いたくない」R「うん、うん、だけど涙が止まらないの」（右の写真がその場面です）



沖私保連の動き

2月

8日(金)	三役会
12日(火)	理事会
12日(火)	全国研修部長会
13日(水)	
14日(木)	研修部会
15日(金)	事業部会
18日(月)	キャリアアップ研修(幼児教育)
25日(月)	沖女子短期大学との意見交換会
28日(木)	全私保連代表者会議(東京)
28日(木)	九州私保連代表者会議(東京)

4月

8日(月)	研修部会
11日(木)	青年会議
12日(金)	三団体理事会(福岡)
17日(水)	九州予対委員会
18日(木)	九州私保連代表者会議
19日(金)	
23日(火)	監事監査 三役会
24日(水)	全国事務局長説明会(東京)
25日(木)	
26日(金)	理事会

3月

4日(月)	研修部会
5日(火)	手引き説明会
6日(水)	会計指導
7日(木)	広報部会
8日(金)	保育協議会委員会
11日(月)	三役会
12日(火)	理事会
15日(金)	社協評議員会

5月

8日(水)	青年会議
9日(木)	予対部会
12日(日)	はしか0キャンペーン
13日(月)	三役会
14日(火)	理事会

6月

3日(月)	研修部会
4日(火)	保協委員会
10日(月)	内閣府より国会議員へのレクチャー
11日(火)	全私保連全国大会
13日(木)	
17日(月)	三役会
18日(火)	理事会
19日(水)	予対会議 算定基礎説明会
25日(火)	社協評議員会 事業部会
26日(水)	全私保連代表者会議
27日(木)	全私保連総会(東京)
28日(金)	広報部会

夏の風景



どろ滑り台楽しいな～



雨のあと水たまりで



ヒーヤ、ハーイヤ！(エイサー)

編集後記

- ・令和元年最初の私保連だより。今号は保育士の皆さんに今の思いを語ってもらった。こんなにも葛藤しながら、保育士としての楽しさ、喜びを感じ、子どもたちへたくさん愛情を注いで頑張っている保育士の皆さんへの感謝らしいんだろう!!心から敬意を表したい。このひたむきに頑張る保育士の皆さんの幸せのために園長として全力で支えていかなくてはと強く思う。今年度は毎号、「保育士の声」を掲載する予定。「保育士になって思うこと」寄稿お待ちしています。(理子)
- ・保育士が日々、子ども達との関わりや想い、保育への姿勢に対する自身との格闘を癒してくれる子どもたちの笑顔。その事を伝えるのは広報部が担っていると思える。頑張ります。(田吾作)
- ・久々に部会に出席しました。会員園から寄せられた原稿を読みながら、保育士時代を思い出し、ハッピーな時間を過ごしました。(N・F)

・広報部員でありながら、中々参加出来ず大変申し訳なく思います。広報の活動って私には荷が重く、どうしようという心配での参加でした。でも一人ひとり部員の皆さんも頑張っていらっしゃるので皆さんの足をひっぱらないようにこれからも頑張ります。(M・M)

・今日の部長が作ってきたローフードケーキは、実においしくて美しい。そのことに感激しながら保育者の声の原稿に目を通しながら、保育って深いなあと感慨に浸っている。「次回の部会のおやつはロショコラムース」との予告があり、絶対参加しようと心に決めている。(K子)



私たち「観光」と「交流」で地域社会に貢献します。

One Two Smile OTS 沖縄リーリスト

本社：那覇市松尾1-2-3

営業本部 販売部：那覇市金城1-12-17
TEL (098) 857-2222

りゅうせき商事で取り扱いはじめました！



保育園専用
業務支援システム
コドモン

国務の効率化！ 保育園の課題ICTで解決！

園長者連絡
登録園管理
園行事写真販売
職員シフト作成
指導案日誌作成

りゅうせき商事(株)ソリューション事業部 TEL.098-874-6665

全国導入実績
1,700園以上

マイクロバス 送迎車 レンタル&リース専門店

マイクロバスのことなら何でもご相談ください。
幼児送迎バスも
★レンタルできます。★

(一社)沖縄県レンタカー協会正会員

マイクロバス29人乗り(例)
●利用料30,000円(税別)
●15ヶ月220,000円(税別)

ていへだレンタカー

TEL.098-923-2123



【取扱い】
絵本、砂場メンテナンス、
保育用品、室内・園庭遊具など
♪なんでもご相談ください♪

沖縄科学教材社

TEL/FAX
098-927-6433

〒902-0073 那覇市上間366-1 担当：島袋 康平

AIG AIG損保

園児総合
保障制度

キッズガード

(商品名：子ども総合保険)

健やかなお子様の成長のために…

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生の保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG損害保険株式会社

沖縄支店：〒900-0015 那覇市久茂地1-12-12
ニッセイ那覇センタービル3F
TEL：098-862-2174 FAX：098-863-0960

天然成分のナチュラルな虫よけスプレーで、
夏のお出かけも安心。.

先生の声

・沖縄県保育園連盟推奨ということでお試して以来、ずっとお世話になっています。
・化学物質を使用していないナチュラルなスプレーということもあり、安心して子供に使用できます！

株式会社アイティオージャパン
オキナワアロマ ペタルーナ
TEL 098-943-6550 FAX 098-861-5177
〒900-0005 那覇市天久1-26-23
担当：小川、屋宜

[ペタルーナ](#) | [検索](#)

幼い胸に美しい夢と感動を

劇団 飛行船

<http://www.hikosen.co.jp>

OCIS-HIKOSEN
〒530-0047 大阪市北区西天満4-7-3-4F Tel 06-6364-3769

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等

(株)盛厨房設備 リサイクル厨房館

本店 〒901-2122 浦添市勢理客2-15-1
TEL:(098) 878-3182 FAX:(098) 874-2405

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL098-889-4339 FAX889-1808
okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱：幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

未来の子供たちへ
絵本が育てる子供の心
明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市長堂144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635

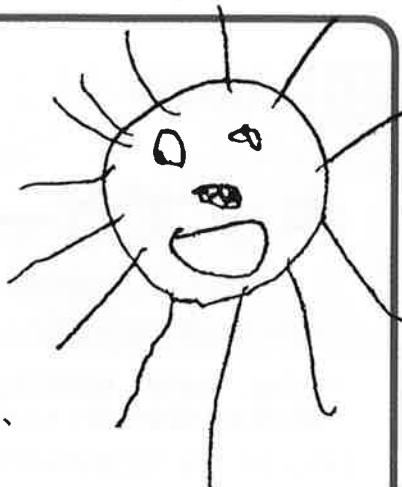
RICOH
リコージャパン株式会社



園および園児を さまざまなりスクから サポートします

園経営には、さまざまなりスクが伴います。

(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくりスクに関する
各種保険を取り扱っております。



ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度
(総合生活保険(こども総合補償))です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

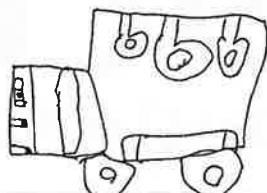
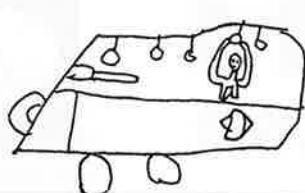
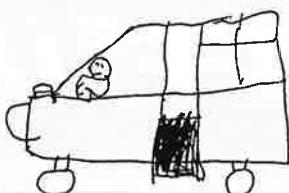
〈連絡先〉 (公社)全国私立保育園連盟指定
東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



17-T10450 2018年2月作成